

林野庁 四国森林管理局

徳島森林管理署 とくしま通信

池田高校三好校に「林業出前授業」を行いました

10月19日、(火)徳島県三好市にある、徳島県立池田高校三好校の2年生13人にドローンの操作について出前授業を行いました。

この活動は、徳島県と合同で、環境資源科の生徒を対象に森林環境教育の取組の一環として、ドローンに慣れ親しんでもらうため、3年前から、ドローンの基礎知識、基本操作の習得講座を行っています。

まずは、西部総合県民局林業振興担当の平川課長から開会挨拶のあと、ドローンやICT技術を使つての林業の取組状況等について説明がありました。

続いて、島田署長より、公務員への就職ガイダンスを行い、その後、当署職員の筒井講師による、ドローンの取扱いや操作方法の講義後、運動場での体験飛行を行いました。

初めは恐る恐る慎重に操作していましたが、すぐに慣れ、自分たちの自撮り撮影や、普段見られない校舎の上空からの写真、動画撮影にもチャレンジし、その写真や動画は鮮明で美しく、生徒たちはドローンの高い性能に興味を持ち、貴重な体験となる一日でした。

徳島署では今後も出前授業などを行い、森林環境教育を通じて森林への理解を深める取組の支援を行ってまいります。



筒井講師による講義の様子



ドローン体験飛行実習の様子(1)



ドローン体験飛行実習の様子(2)



ドローンによる記念撮影

有志協議会を開催しました

10月26日(火)、「令和3年度 徳島国有林野等所在市町村長有志協議会」を開催しました。

代表世話人の高井三好市長の挨拶後、今年度のテーマである「地域における林業・木材産業の振興と国有林に求める役割」について、四国局・徳島署から説明が行われました。

次に各市町村から「森林・林業への取組における課題」や、「国有林野事業及び林野庁への要望等」について、多くの意見が出されました。

課題として、「林業事業者及び林業の担い手の確保・育成」と「森林境界の明確化」が大きな課題となっているとの意見が多く、多くの市町村から出され、「林業の専門職がないため、ノウハウがないことから国有林から提供して頂きたい」、「現地を見てアドバイスが欲しい」等の要望が出され、それぞれに対して四国局、徳島署、徳島県の担当者から考え方を示すなど、有意義な意見交換の場となりました。

徳島署では、これからも林業の成長産業化のため民有林の支援に努めてまいります。



代表世話人挨拶



四国森林管理局長挨拶



会議の様子(市町村出席者の発言中)



会議の様子

災害情報収集演習を実施しました

10月29日(金)、徳島県三好市井川の井川スキー場において、徳島県、四国森林管理局、徳島森林管理署との合同による、「第3回 災害時情報収集演習」を行いました。

この演習は、「国有林」を管理する四国森林管理局と「民有林」を所管する徳島県との間で、平成31年3月18日に締結した「林野災害時におけるドローンの利活用に関する協定」に基づき実施しており、災害情報を迅速かつ的確に把握し、早期復旧を図るとともに、国、県、市町村等との連携強化を目的として実施しています。

今年度は、参加対象者を四国4県に拡大し、林野庁、四国局、各署(所)、徳島県、愛媛県と山地防災ヘルパーの合計48人の参加となりました。

今回は、昨年課題であった現地からのWeb配信について、Webex、Zoom、Facebookにより現地画像を、関係機関にライブ配信し比較を行いました。

配信された画像は、各アプリとも各配信先で鮮明な画像が確認でき、配信の遅延も許容範囲であったことから、今後の運用に期待が持てるものでした。また、午後からは、空撮画像の解析、オルソ画像・図面作成研修等を行いました。

参加者からは、有意義な演習であったとの意見があり、今後は各関係機関が連携をより一層強化し、安全で迅速な災害対応力の向上が図られるよう、ドローン等ICTの活用と人材育成について取組を進めてまいります。



演習の様子(徳島署によるドローン飛行)



演習の様子(モニターによる確認)



演習の様子(徳島県によるドローン飛行)



午後からの研修の様子



徳島署庁舎

四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1



国民の森林・国有林